

2019 年度 授業計画(シラバス)

開講時期	1年次前期	科目区分	専門科目
学科名	公務員専攻科	授業形態	講義演習
担当講師	塩川尚文	授業科目名	世界史 I
単位数	2	時間数	30
受講生の到達目標	講義範囲内の問題において7割以上の正答を目指す。		
授業概要	講義では、人類の誕生から現代までを学習する。世界史は範囲が広く複雑多様なため「覚えにくい」などの苦手意識が強い科目であるが、本講義では、よりわかりやすくするために東洋史と西洋史に分けて学習を進めている。また、学習していく上で常に「なぜか」という問いを用意し、それについて「考える」ように指導している。さらに学校の講義だけではなく、いつでもどこでも学習ができるようインターネットを利用したWebトレーニングを教材として採用しており、暗記力アップを図る。		
授業計画	4月	古代～中世ヨーロッパ	
	5月	近代ヨーロッパ	
	6月	東洋史	
	7月	現代の社会	
	8月	夏期講習(まとめ)	
	9月	直前演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
成績評価の方法	科目評価は模擬試験や随時行われる確認テストを100点満点に換算し、以下4段階で評価する。優・・・100～85点、良・・・84～70点、可・・・69～55点、不可・・・54点以下。また出席率、授業態度、提出物に問題がある場合は換算した点数から減算し評価を決定する。		
使用テキスト及び参考図書	人文科学(TAC出版)		
	公務員試験過去問題集(各社)		
	Webトレーニング(ウィネット)		
学生へのメッセージ	歴史科目は勉強するものではなく物語だと思って取り組むと覚えやすいです。歴史を見ていくと権力者が現れ、そして滅ぼされる。その繰り返して現代まで至るという流れで見ていくと興味が沸いてきます。		

2019 年度 授業計画(シラバス)

開講時期	1年次後期	科目区分	専門科目
学科名	公務員専攻科	授業形態	講義演習
担当講師	塩川尚文	授業科目名	世界史Ⅱ
単位数	2	時間数	30
受講生の到達目標	講義範囲内の問題において7割以上の正答を目指す。		
授業概要	世界史Ⅰでは知識の習得と出題頻度の高い問題についての講義であった。それを踏まえ世界史Ⅱでは過去問題を中心に苦手な時代を把握し、細かい内容の出題でも対応できるよう力をつけていく。また校の講義だけではなく、いつでもどこでも学習ができるよう引き続きインターネットを利用したWebトレーニングを活用し暗記力アップを図る。		
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	古代～中世ヨーロッパ	
	11月	近代ヨーロッパ	
	12月	東洋史	
	1月	現代の社会	
	2月	総合演習	
	3月		
成績評価の方法	科目評価は模擬試験や随時行われる確認テストを100点満点に換算し、以下4段階で評価する。優・・・100～85点、良・・・84～70点、可・・・69～55点、不可・・・54点以下。また出席率、授業態度、提出物に問題がある場合は換算した点数から減算し評価を決定する。		
使用テキスト及び参考図書	人文科学(TAC出版)		
	公務員試験過去問題集(各社)		
	Webトレーニング(ウィネット)		
学生へのメッセージ	歴史科目は勉強するものではなく物語だと思って取り組むと覚えやすいです。歴史を見ていくと権力者が現れ、そして滅ぼされる。その繰り返して現代まで至るという流れで見ていくと興味が沸いてきます。		